

みんなの心をバリアフリーに

つながる。ひろげる。配慮・サポートの輪



タブレットで
手話通訳
しますね

椅子を動かしますね。
こちらへどうぞ

筆談も
できますよ

車いすを後ろから
押しましょうか

この先下りの
階段が続きます。
ご注意ください

お困りですか？

階段の下に自転車
が停まっています

お手伝い
しましょうか？

- 2 まち中に配慮やサポートの輪を広げるために
- 3 障がい者関連情報、子ども・若者関連情報
- 4 子ども・若者関連情報、税、市民参画
- 5 多摩市職員の給与および人事などの状況
- 6 冬期のガソリン・灯油の取り扱いに注意しよう
- 7・8 講座・催し物
- 9 健康だより(救急診療など)・
新型コロナワクチン関連情報
- 10 図画ポスターコンクールで多摩市の小学生が入賞！

市長コラム 多摩の風 第109回

「Rei食器」でエコな食卓
不要になった陶磁器製の食器を粉砕し、再び資源として粘土に混ぜ直し、蘇らせた食器を「Rei食器」と呼んでいます。
先月、多摩ニュータウン環境組合を構成している八王子・町田・多摩の市議会議員と各市の清掃事業担当の部長などと一緒に、岐阜県多治見市・土岐市・瑞浪市で食器リサイクル事業に取り組んでいる工場や工房などを見学してきました。
使っていて割ってしまった食器や買い替えていらなくなった食器などが、家の中に眠っていませんか。
回収した食器は、美濃焼の産地に運び、まず粉砕工場で粉状に。この粒子を20〜50%ほど混ぜたりサイクル陶土を作製。そして、皿や器としてクールに再生。といった分業により、「Rei食器」は造られます。
ガラス製食器など再利用できないものもあるため、多摩ニュータウン環境組合「エコにこそセンター」は、八王子・町田・多摩の三市に居住し、直接ご持参いただける、ご家庭で不用になった食器に限り回収しています。
この取り組みは、もともと美濃焼の原料となっている粘土が長年の採掘により枯渇してきたこと、土に還らない食器は埋め立てない、といった自然への環境愛からスタートしました。
陶磁器の製造過程で発生した削りくずなども100%生かすきるなど「もったいない」という意識を大切にしています。
この「Rei食器」はエコにこそセンターで購入できます。地球環境に優しいエコな一品です。
(多摩市長 阿部裕行)